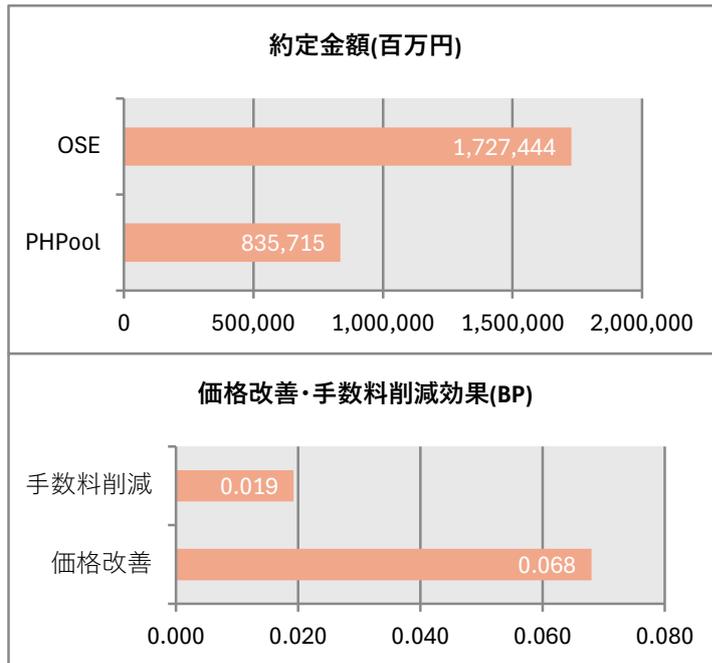


SOR執行評価：指数先物（PHPool約定分）

評価結果サマリ

| | |
|--------------------|--------------------|
| 評価対象期間 | 2026/02/02 - 02/27 |
| 月間合計約定金額(百万円) | 2,563,159 |
| 月間合計約定件数 | 181,405 |
| 一日あたりの平均約定金額(百万円) | 128,158 |
| PHPoolの約定金額(百万円) | 835,715 |
| PHPoolの約定件数 | 69,588 |
| 一日あたりの平均約定金額(百万円) | 41,786 |
| 改善効果計算対象の約定金額(百万円) | 835,715 |
| 改善効果計算対象の約定件数 | 69,588 |
| 月間改善金額合計(円) | 5,652,790 |
| 価格改善効果(BP) | 0.07 |
| 約定一件あたり価格改善金額(円) | 81.23 |
| 月間手数料削減金額合計(円) | 1,607,884 |
| 手数料削減効果(BP) | 0.02 |
| 約定一件あたり手数料削減金額(円) | 23.11 |
| 比較価格が存在した約定件数 | 69,588 |
| 改善した約定件数 | 69,578 |
| 同価格での約定件数 | 0 |
| 劣化した約定件数 | 10 |



OSE:大阪取引所立会市場、PHPool:フィリップ証券のダークプール

価格改善効果は、約定金額と、約定時点における大阪取引所立会市場の気配価格(買注文の場合は売気配、売注文の場合は買気配) から算出した想定約定金額を比較し、ベースポイントBP (1BP=0.01%) の単位で表記しています。

商品別改善効果

PHPoolでの商品別の約定金額と価格改善した約定の改善効果を記載しています。

単位：約定金額は百万円、改善効果はBP

| 商品名 | 約定金額 | 改善効果 |
|------------|---------|------|
| 日経225先物 | 75,694 | 0.06 |
| 日経225mini | 714,841 | 0.06 |
| TOPIX先物 | 17,835 | 0.26 |
| ミニTOPIX先物 | 26,726 | 0.13 |
| JPX日経400先物 | 319 | 0.03 |
| 東証G250先物 | 107 | 1.39 |
| NYダウ先物 | 193 | 0.02 |

商品別・セッション別改善率

PHPoolで約定した枚数に対するOSE気配価格より有利な価格で約定した枚数の割合を商品別、セッション別で記載しています。

| 商品名 | 日中 | 夜間 |
|------------|--------|--------|
| 日経225先物 | 99.8% | 100.0% |
| 日経225mini | 99.9% | 99.9% |
| TOPIX先物 | 100.0% | 100.0% |
| ミニTOPIX先物 | 100.0% | 100.0% |
| JPX日経400先物 | 100.0% | 100.0% |
| 東証G250先物 | 100.0% | 100.0% |
| NYダウ先物 | 100.0% | 100.0% |

OSE気配価格に劣化した約定

PHPoolで約定価格が約定時点でのOSE気配価格に劣化したと判定される約定の件数、約定金額、BPを掲載しています。

| 市場 | 約定金額(百万円) | 約定件数 | BP |
|--------|-----------|------|-------|
| PHPool | 121 | 10 | -1.23 |

OSE気配価格に劣化した約定に関する調査

当該約定の価格劣後は、注文発注からマッチング判定・約定までのタイムラグや約定時刻の精度によりJ-NETで約定した時点のOSE気配価格との比較において差異が生じたものとなります。マッチングした時点のOSE気配価格にて調査した結果、劣後件数は32件でした。尚、当該劣後件数については、OSE気配価格がPHPoolに到達するまでの数十マイクロ秒の遅延及びマッチング判定時刻の数百マイクロ秒程度の誤差によるものであり、判定時にPHPoolが把握する気配価格に対しては、同値または有利な価格である場合、PHPoolはマッチングをおこないます。

- ・本項目は三菱UFJ eスマート証券ならびにフィリップ証券の調査結果を記載しています。
- ・本調査はOSEのタイムスタンプを利用して事後的に構成した気配値を用いた客観評価のため、結果として本レポートの劣後件数より前後する場合があります。

先物SOR取引ご留意事項

- ・先物SOR発注時に対当した価格が必ずしも約定時における有利な価格を保障するものではありません。
- ・約定価格がOSE気配価格と同値だった場合、OSE気配価格より有利な価格での流動性が十分でなかった可能性があります。
- ・約定価格がOSE気配価格より不利な価格だった場合、先物SOR発注から約定までのマイクロなレイテンシーや急激な価格変動により結果として立会市場の方が有利となった可能性があります。

©2026 QUICK Corp.

本レポートは、三菱UFJ eスマート証券株式会社の依頼により、株式会社QUICKが提供しています。本レポートおよび本レポートに含まれる情報（「本情報」）の著作権等の知的財産権は株式会社QUICKまたはその情報提供元に帰属します。本レポートの閲覧者（「閲覧者」）は、本レポートをご自身でのみ利用するものとし、第三者への提供、本情報の加工、編集、蓄積等を固く禁じます。本情報の内容につきましては、万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保障するものではありません。閲覧者が本情報の利用または利用できないことにより被ったいかなる損害も、三菱UFJ eスマート証券株式会社、株式会社QUICKおよび情報提供元は一切責任を負いません。